

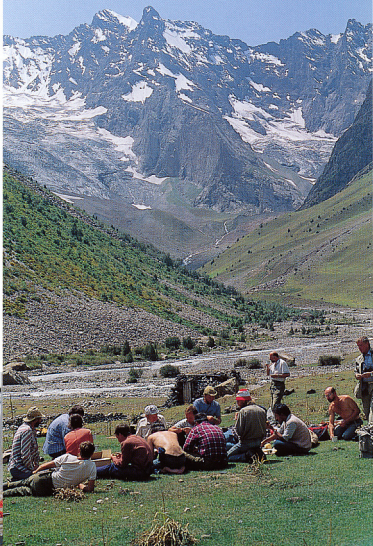


ロシア边境の旅

昨年(1991)8月、国際会議の巡検で訪れたキルギス共和国(第1頁)と、日ソ共同研究で訪れたカムチャツカ半島(第2頁)の風景を紹介する。政変の直前あるいはその最中であつたにもかかわらず、調査旅行はよく準備され、充実したものとなつた。

(鉱物資源部 佐藤興平・J.W.Hedenquist)

1. (上)天山山脈南西部のTurkestan-Alai地域では、中-後期古生代の泥岩や石灰岩を古生代末期の花崗岩類が貫き、これらを不整合に被って白亜紀の砂岩礫岩層が分布する。成層した茶褐色部が白亜系、ヘリコプターより撮影。
2. (右)氷河を背景に牧草地で昼食。標高3-4000m付近の典型的な風景。
3. (下)天山山脈の雪解け水は山麓の農耕地に豊かな実りをもたらしている。オシュ(Osh)の市場には、ぶどう・すいか・メロン・ピーマンなどが山と積まれ、身動きできない程の賑わいをみせていた。気軽にポーズを取ってくれた市場の人たちの人なつこきが印象的。





4. (上) Petropavlovsk Kamchatsky北方の Koryaksky火山,
5. (左) Maly Semlyachik火山の火口(前景)と Boly Semlyachik火山(遠景),
6. (中)長距離の移動ではヘリコプターが、地表調査ではキャタピラー付きの車両が活躍、写真は、浅熱水性金鉱床の探査が行われている Mutnovsky 火山地熱地域(Petropavlovsk Kamchatsky南方)に向かう所、左下は残雪、

カムチャツカの火山活動とこれに関連する地熱活動および浅熱性鉱化作用の日ソ共同研究は、地質調査所とソ連科学アカデミー火山研究所(在Petropavlovsk Kamchatsky)との間で昨年始められた、今後も、日ソ両国間の協力による共同研究の継続が期待される。